



414
A 210



一編抄是仁時分揚春和如知先生出始治之稱跡所安永
 長生少勤事勤如之陳去月十四日所總之出言也去月
 九日首手不拝備仁當縣士族妄動之件之作越乃在
 前早跡事に成り既去月十五日肥後能登之兵三小隊早津
 江より揚陸し日午頃時頃元少城同縣願に成り是日
 當よりと逆賊江孫新平を討ち者共大出流同日夜半頃打取
 元二少丸を落火し三少丸も焼失成り私を前山清一郎
 頭之勤王同志士族一合畧人程同日午及四時頃諸當
 津の宿堂共在一体征韓愛國者社之孫新と推り名を以加
 多め一七日以前分宗純と前山始集會を催す西社巨魁之

佐賀縣永淵善吾の苗三月十日寅尚杖十八日辰八時至若
 二日留守也



者其江決而妄動中後無之極示法加の其更中入極子無之
實之歎々後決中より此の然無前ありて其動中不乃止る
前山始諸富の若津に大川と渡し其砌り武百人程逃去り
逆賊と云ふ人も多分有る或は東京より人も有之難能く
正義お立者少くお成残り極に人数百程お本夫お熊本
熊臺に向は頼以多し不日大坂熊臺二大隊出兵久留本澤
陣よりあす、他及熊臺一大隊と前山始彼方お越甚其勢正義
隊と各附朝兵にお成互にお結ぶ夫お一同、妻本お打入り一戦無
二三里の位を攻取実逆賊之弱兵ある事、筆紙にはくが多
是迄有名錫島と士と天下の名をあげた者が三四日内に城を
圍中十二九合におぞり立の其大坂熊臺二大隊熊本熊臺二大
隊合三大隊と三四日内に降伏或は逃去り少く新に熊臺

兵之戦争強兵ありしお知事の中城兵手負お死凡三百人余
ありし、官軍も多分ありし僕も一五日以前より帰宿を
お免れし官軍前にお候し後にお成然る今日逆賊
江坂新平多田園お逃し逃去りしは僕も方お探索方にお
一寸も隙なく戦争之振合委發り上層も山にお有るは
右の振合を何分甚候し不能昔中上にお石井平治後片園義
家前にお前山隊にお加り正義とお立諸富にお大川と渡し、然る
宿元お立し情にお引柳川にお帰國にお成り今日にお返り極
にお極子にお成り一程内にお僕一人正義隊にお戦争四夜先陣
におし、其及野津少將にお郷道におお頼本陣附にお在る
尚官にお手負にお不致保し刀にお鞘にお玉阿あり銅板にお一
にお阿あり、誠にお
運叶にお入江元にお返り前山隊におお成り戦争にお砌り候

三平卧故入隊等事不乃止之証也其意亦不為所惑
以祖母孫正始余程世話其處佐賀城下也燒失之不在
以故少無事三平家因活孫正達者三平也其由
左孫正安心可也故佐賀城之振命也三平上意其有之
少平前中上通り酒蒸屋際其屋空故後便三平上決皆
荒過西各旁州三平備

三月十日

永淵善吾

武富先生

同 精之助様

同 禮之進様